

中 守 破 離



令和6年7月10日（水）第8号

救急法講習会を実施しました

7月5日（金）、救急法講習会を行いました。この講習会は、次の4つのことを目的に実施しました。

- ①傷害が発生した際の適切な手当の方法を知る。
- ②応急手当を適切に行うことによって、傷害の悪化を防止できることを理解する。
- ③心肺停止に陥った人と遭遇した時の救急手当として、AEDを用いた心肺蘇生法を実習する。
- ④感染症対策を合わせた救護の視界について考える。

講師として、日本赤十字社広島県支部 赤十字救急法講師 脇谷 孔一 様をお招きしました。各学年が2時間の講習を受けたのですが、心肺蘇生法については一人一台の訓練用簡易モデルを準備され、生徒全員が体験することができました。また、AEDの使用方法については、緊張感をもって説明を聞いて実習しました。AEDの使用や心肺蘇生法については、何回体験しても緊張しますし、実際に事故等に遭った場合に本当に対応できるのだろうかという不安もあります。だからこそ、何回も体験することが必要ではないかと考えています。昨年度も脇谷様の講習会を生徒たちは受けていますが、学年が上がるごとに上手に蘇生法を実施できているという言葉いただきました。

また、この講習会の前には、教職員対象の研修も行い、もしものときに適切に対応できる力を身に付けることを目指しています。



「四志の石庭」について

現在、仁方中学校の中庭には、立派な「四志の石庭」があります。この石庭は、平成 11 年 6 月に、地域や業者の皆様の御協力の下、完成しました。保護者の皆様の中には、本校を卒業された方も多いと思いますが、当時はまだ石庭も何もなく、ただのスペースだったと記憶しています。

このような石庭は、なかなか他の中学校にはなく、本校が自慢できることのひとつだと思っています。小石を敷き詰めていますが、植物が伸びてきて管理することが大切になってきます。そのため、学校主事の松岡先生に管理していただいているとともに、先日はボランティアの生徒の皆さんが草取りをしたり、小石の波を作ったりしてくれました。

「四志の石庭」をきれいにしながら、生徒の皆さんはどんなことを思ったり、考えたりしたのでしょうか？ ただひたすら無心になっていたり、石庭をきれいにしようと思ったりなどが考えられますが、母校を誇りに思い、仁方中学校を卒業して良かったと思ってほしいと願っています。暑い中大変でしたが、本当にありがとうございました。



「四志の石庭」の歴史

昭和 5 4 年 3 月、校舎（北校舎、南校舎）完成。

4 月、第 9 代 清田均校長 が就任。

昭和 5 5 年 清田均校長が中庭の有効利用について提起。

美術科 谷村若水教諭 を中心に「モデル案」提出。

第 1 案 日本庭園風に「池」を配置。

第 2 案 西洋庭園風に「芝生公園」を配置。

以後 6 1 年までの 7 年間この 2 案で検討されるが、決定に至らず。

平成 9 年 第 1 5 代 谷村若水校長 が就任。

平成 1 0 年 谷村若水校長が「石庭」を提案。

平成 1 1 年 6 月、地域や業者の全面的な協力の下「石庭」が完成。

【説明】 水を使わず水の流れを表現する日本美術究極の美

「枯山水」をテーマにしている。

野呂山から運んだ 4 つの岩それぞれに「知」「徳」「体」「絆」の意味を持たせている。

平成 2 1 年 1 0 月、生徒公募により「四志の石庭」と命名。

平成 2 4 年 「四志の石庭」石碑の設置。

平成 2 6 年 生徒代表の自筆による文字板を設置。